



15

ひとつの こたえを おいて いのろろ

げつようび

使徒
2章 41~42節

そこで、彼のこたえを受け入れた者は、バプテスマを受けた。その日、三千人ほどが弟子に加えられた。そして、彼らは使徒たちの教えを堅く守り、交わりをし、パンを裂き、祈りをしていた。

マルコの屋上おくじょうの間に集まって祈っていた初代教会しよだいきやうかいの人々に、神様かみさまは特別とくべつに一つのチームになる答えをくださいました。彼らは、ただイエス・キリストの契約を中心けいやくに集まったチームでした。初代教会しよだいきやうかいは、ただイエス・キリスト、神の国かみくに、聖霊せいれいの満たしという契約を握にぎって祈りました。私たちの教会きやうかいも、初代教会しよだいきやうかいの人々が受けた答えが来ることを祈らなければなりません。友だちの中には、教会きやうかいに来ていても、まだ福音を知らない場合もあります。そのような友だちが、福音を知って、礼拝を回復するように、祈って助けるべきです。初代教会しよだいきやうかいが受けた一つのチームになる答えを、いっしょに受ける友だちだからです。

初代教会しよだいきやうかいは、使徒が教えたみことばを握にぎって祈りながら、福音を知らなくて病気びやうきになった現場げんばに入りました。最終的に、町中まちじゆうが福音を聞くように助けました。神様かみさまは、今日けふ、福音を持った霊的サミットとして現場げんばの暗やみ文化を福音文化ふくぶんかに変える私わたしを願ねがっておられます。初代教会しよだいきやうかいのように、福音のみことばを伝える友だちとの一つのチームになる答えを受けるようになるように祈りましょう。



きょうのみことば

Blank lines for writing the daily message.



きょうのいのり

神様かみさま、ありがとうございます。休むことなく、福音を伝えるひとつのチームと出会あいのように祈ります。そのチームで現場げんばに福音文化の根をおろす答えが与えられますように、生きておられるイエス・キリストのお名前なまえによってお祈りします。アーメン

使徒2章ではじまった一つのチームになる答えが使徒パウロとバルナバまで伝えられました。下のみことばをなぞって書いて私にも出会いの祝福が与えられるように祈りましょう。

かいて
みよう



きょうのでんどう

あひと
会う人

Blank grid area for writing the church directory.

じゆんぱ
準備する資料

Blank lines for writing the preparation materials.



16

かよび

いちばん かが あることに もちいられます

使徒
18章1～4節

その後、パウロはアテネを去って、コリントへ行った。ここで、アクラというポント生まれのユダヤ人およびその妻プリスキラに出会った。クラウドオ蒂が、すべてのユダヤ人をローマから退去させるように命じたため、近ごろイタリアから来ていたのである。パウロはふたりのところに行き、（1～2）

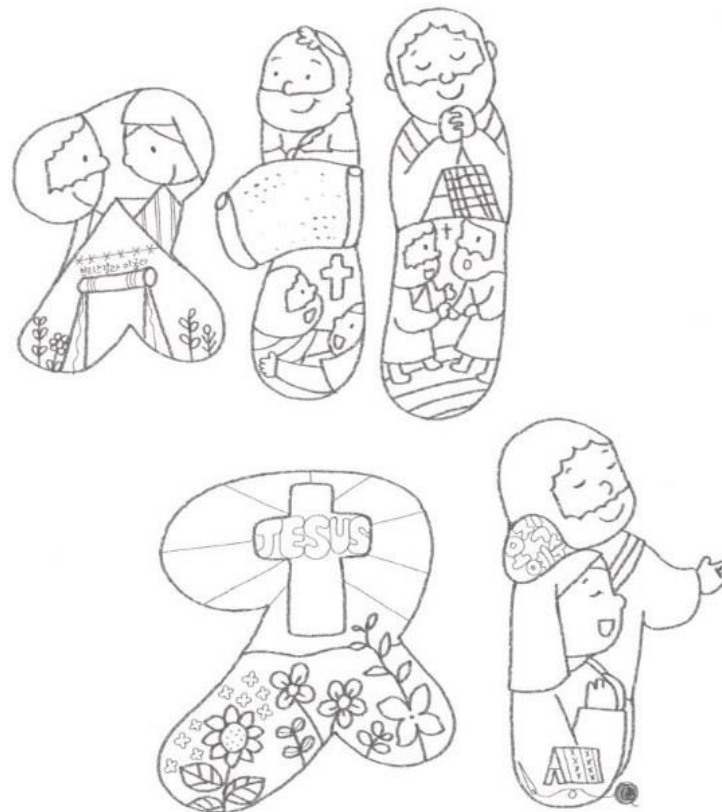
プリスキラとアクラは、多くの困難の中でも、伝道者を助けて福音を伝えた夫婦でした。彼らは、イエス・キリストの福音を正確に分かった重職者でした。聖書に通じていたアポロに出会ったときも、キリストを知らなかった彼に、正確なキリストを伝えました。彼らの家は、人を生かすミッションホームとして福音を伝える教会の答えを受けました。それだけではありません。神様が準備された伝道者パウロと出会い、ローマを越えてイスパニヤまで福音化する歩みに導かれました。ローマ16章3～4節にも、伝道者パウロの同労者であり、命をかけて伝道者を助けたプリスキラとアクラ夫婦の記録が残っています。

福音を伝えることは、神様に最も喜ばれる、価値のあることです。それゆえ、福音を伝えることは、だれも妨げることができません。私もプリスキラとアクラ夫婦のように、福音を伝える教会の牧師先生、重職者の方たち、レムナントを思いきり助けることを祈りましょう。神様は私に注目して下さり、福音と伝道に必要なすべての祝福を与えてくださるでしょう。



いろを
ぬろう

いちばん価値があることに用いられたプリスキラとアクラ夫婦はキリストの弟子でした。「弟子」ということは韓国語で「제자」と書きます。下の「제자」のかたちの絵に色をぬって、キリストの弟子になるようにいっしょに祈りましょう



きょうのみことば

Blank lined area for writing the daily message.

きょうのいのり

神様、ありがとうございます。私が先に福音を体験して、神様が願っている福音を伝えることに用いられるレムナントになるように導いてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

きょうのでんどう

Blank grid area for writing the daily devotion.

あひと
会う人

じゅんび
準備する資料

Blank lined area for preparing materials.



17
すいようび

レムナントが かならず しなければ ならない こと

ピリピ
1章6節

あなたがたのうちに良い働きを始められた方は、キリスト・イエスの日が来るまでにそれを完成させてくださることを私は強く信じているのです。

レムナントは、今日も、知らない間にすべてのことを受け入れています。そのようにして作られた考えと習慣は、結局、未来を左右します。それゆえ、レムナントには、必ずしなければならぬことがあります。福音、祈り、伝道のみことばを整理することです。この3つのことが整理できるということは、私たちの心とたましいにのみことばが刻印にされたということです。一度もそのような時間をもたないならば、神様の答えを知らないまま、心とたましいには他のことが刻印されてしまうでしょう。

イスラエル民族は、サタンが世の中に植えつけたわざわいのために、奴隷、捕虜、属国という、この上なく大きな苦しみにあわなければなりません。しかし、ヨセフは違いました。表面の姿はエジプトに売られて行った奴隷でしたが、考え、心、たましいには神様がくださった福音の契約が整理されていました。それゆえ、ヨセフが経験したことは、苦しみではなく、土台になって、すべての現場を生かす土台になりました。

福音の契約をしっかりと握りましょう。そして、神様が私にくださった祈り、伝道のみことばとともに刻印しましょう。そのようにみことばを握って整理するとき、正確な時に、みことば成就に導かれるようになるでしょう。

きょうのみことば

Blank lines for writing the daily message.

きょうのいのり

神様、ありがとうございます。考えと心、たましいに神様のみことばが刻印されて、根をおろして、体質になったレムナントになりますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



今月の悩みはなんでしょう。

なやんでいます



パク・ウヨン牧師夫人！

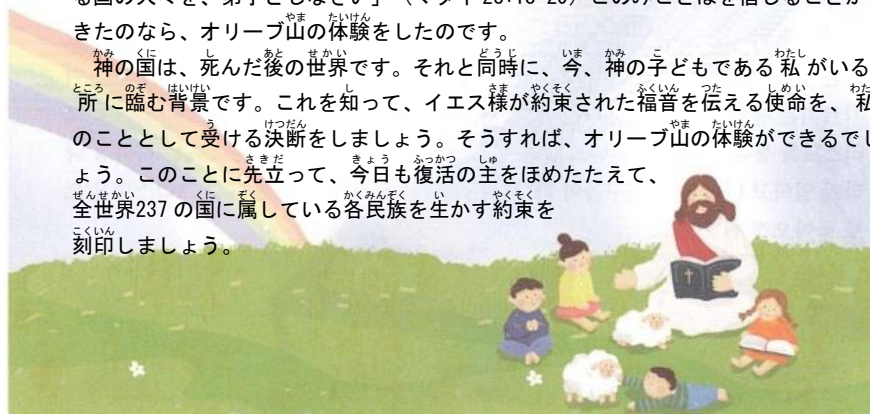
わたし、なやんでいます！ 21伝道者の生活5番目の質問！

私もイエス様の弟子たちのようにオリブ山へ行くことはできますか

オリブ山の体験とは、山に登るという意味ではありません。イエス様の復活を本当に信じていることができ、最後にお願ひされたミッションを握ることを言います。復活されたイエス様は、弟子たちにこの体験をすることを願われました。それゆえ、オリブ山で、イエス様が願っておられる一生のミッションをくださいました。

イエス様は、弟子たちに次のような約束とミッションをくださいました。「死ぬことが終わりではない。復活がある。神の国があるので、死を恐れずに行き、あらゆる国の人々を、弟子としましょう」(マタイ 28:18-20) このみことばを信じてきたのなら、オリブ山の体験をしたのです。

神の国は、死んだ後の世界です。それと同時に、今、神の子どもである私がいる所に臨む背景です。これを知って、イエス様が約束された福音を伝える使命を、私のこととして受ける決断をしましょう。そうすれば、オリブ山の体験ができるでしょう。このことに先立って、今日も復活の主をほめたたえて、全世界237の国に属している各民族を生かす約束を刻印しましょう。



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゆんび
準備する資料

Blank grid area for writing names and preparing materials.

ただひとつの みち

マタイ

6章 32～33節

こういうものはみな、異邦人が切に求めているものなのです。しかし、あなたがたの天の父は、それがみなあなたがたに必要であることを知っておられます。だから、神の国とその義とをまず第一に求めなさい。そうすれば、それに加えて、これらのものはすべて与えられます。

人々は、大きな困難や問題を体験すると「地獄だった」と話します。イエス様は実際に、地獄の権威、サタン、罪を解決されたキリストの働きをなさいました。これを福音と言います。福音であるイエス・キリストを信じる人は神の子どもになります。神様の祝福の中で、神様に守られながら、神様の計画のとおり生きていきます。ですから、心配したり、他の道を探したりする必要がないのです。神様に会う、ただひとつの道であるイエス・キリストだけ信じてついて行けば良いのです。

神様は、私に何が 필요한か知っておられます。食べる物や着る物はもちろん、とても小さなことまでも、すべて知っておられます。私たちが祈らなければならないことは、目に見える何かを求めることではありません。それは宗教人が偶像の前でおがむような祈りです。サタンが教える違った道、他の道、他の声、私の考えのとおり祈ってはなりません。ただイエス・キリストを通してくださる神様のみことばに集中しましょう。そうすれば、私がいる所に神の国が臨んで、私と同じように友だちが、神様に会うただひとつの道であるイエス・キリストに立ち返るようになるでしょう。

きょうのみことば

Blank lines for writing the daily verse.

きょうのいのり

神様、ありがとうございます。私の必要をご存じの神様に従って、心配のかわりに、神様の願いと計画を祈るレムナントになりますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



私の現場に臨む神の国はどんなすがたなのかな。神の国が臨むように祈りながら、隠れている絵を探そう。



ふうせん、はっぱ、アイスクリーム、ヨット、スプーン、めがねはぶらし、コーヒーカップ、ふうとう

きょうのでんどう

あひと 会う人

じゆんびょう しりょう 準備する資料

Grid area for writing names and preparation materials.

かみのこどもの いのり

マタイ 7章 7～12節

求めなさい。そうすれば与えられます。捜しなさい。そうすれば見つかります。たたきなさい。そうすれば開かれます。だれであれ、求める者は受け、捜す者は見つけ出し、たたく者には開かれます。

神様でない偶像の前で祈ったり、おがんだりすれば、成功するように見えても、しばらくした後で、もっと大きな失敗をするようになります。しかし、神の子どもが神様にする祈りは、偶像の前におがむのとは別の答えを受けます。イエス様は弟子たちに「自分の子がパンを下さいと言うときに、だれが石を与えるでしょう。また、子が魚を下さいと言うのに、だれが蛇を与えるでしょう。」と言われました。私たちの祈りを聞いてくださる方は神様です。神様は、約束された救いをイエス様を送って成就されたように、神の子どもになった私たちの責任をもってくださいます。これを信じる信仰が私に必要です。

神様は、子どもである私たちを完ぺきに導く聖霊の満たしを与えると言われました。世の中と私に來る問題は、私の知識と力では絶対に解決できません。神様がどんな方なのか知って祈る者を通して解決されます。神様は答えを与えるために、ときには、苦しみを経験するようにされることがあります。しかし、どんな状況がきても私のお父さんである神様に任せながら信仰で祈りましょう。少しの間の苦しみが、福音を伝える私の唯一の土台になるでしょう。

きょうのみことば



きょうのいのり

神様、ありがとうございます。神様が私を神の子どもとして呼んでくださり、私の祈りをひとつものがさずに答えてくださると信じます。どんなことがあっても、神の子どもが祈りができるように導いてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



ワーク

神の子どもの祈りを回復して偶像と戦った預言者イザヤを紙人形で作りましょう。イザヤに与えられたレムナントの契約をいっしょに黙想しましょう。

(26日にもう一度、作ることにありますが、その絵を大きくして、次のページにはってあります。次のページを使ってください。)

切り紙の答えを受けた イザヤの紙人形を作ろう



1 実線にそって切り抜きます



2 点線にそってあります



斜線の部分にのりをぬって面と面をはります。腕、足も同じ方法で、合うところを見つけてはります。



4 切り紙を細長い線のかたちの紙にはります



5 かたちの片側のはしにのりをはります



きょうのでんどう

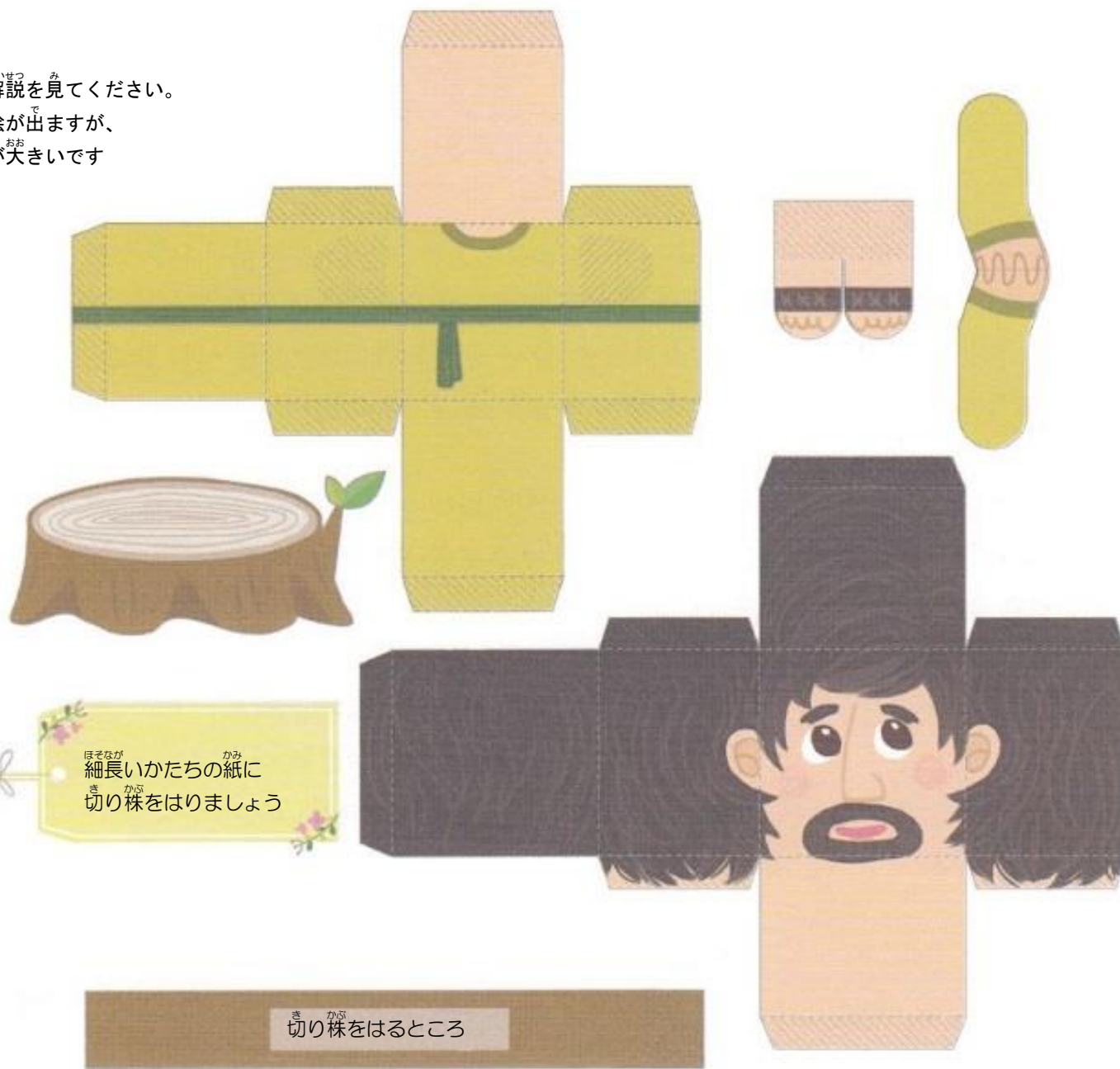
あひと
会う人

じゅんび
準備する資料

Blank space for preparing materials, with horizontal lines for writing.

まえのページの解説を見てください。

26日に同じ絵が出ますが、
この絵のほうが大きいです



ほそなが
細長いかたちの紙に
切り株をはりましょう

切り株をはるところ

20

かみさまが くださる ちから

どうび

使徒 1章 8節

しかし、聖霊があなたがたの上に臨まれるとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、および地の果てにまで、わたしの証人となります。

イエス様が私たちに最後に言われたみことばがあります。「しかし、聖霊が臨まれるとき力を受けて、地の果てにまで証人となります」というみことばです。これは約束です。私たちはこの約束を握るだけで良いのです。そうすれば、神様がくださる新しい力を受けて、約束を成し遂げられるのを見ることができます。また、私にあるすべての問題が自然と解決されるのを知るようになるでしょう。これを霊的サミットと言います。

霊的サミットは、いつでも、どこでも、最高の座に行く方法です。時代ごとにこの事実を悟ったレムナントは、世の中の人々を生かすことができました。私たちも、福音の契約であるイエス・キリストに従いながら、その中で与えられる契約のみことばの約束だけを堅く握りましょう。その契約は、まず私を生かすでしょう。そして、私を越えてまわりの人々をも最高の祝福を受けた人とされるでしょう。このように、すべてを変化させる神様がくださった力を実際に味わうことを祈りましょう。私の祈りに耳を傾けてくださっている神様が、すべて聞いてくださり、正確な時刻表で完ぺきに答えてくださいます。



きょうのみことば

Blank lines for writing the daily verse.



きょうのいのり

神様、ありがとうございます。イエス様の最後の約束、聖霊に満たしの中で、新しい力を受けて、すべての人を生かす働きの主役になるように、恵みをご覧ください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



知恵を
もとう

霊的サミットになるために、霊的な訓練を続ける体力が重要です。季節の変わり目にひきやすい風邪にならように、予防する方法を見てみましょう。



01 清潔な加湿器を使って室内の湿度を調節しましょう。加湿器は寝室よりは広い間に置いたほうが良いです



02 生理食塩水で一日2回、鼻洗浄か、鼻のそうじをして、鼻の中を清潔でしっとりとするように保ちましょう



03 乾燥した天気のせいでよくできる鼻くそ、または、鼻血は、ぬらしたガーゼで鼻の中を気をつけてふけばよいです



04 清潔に洗濯したマスクやスカーフをつけて、呼吸器を冷たい空気がから守りましょう



05 鼻水や鼻づまりの症状があるときは、鼻をとんでも強くかまずに、片方ずつかんだり、鼻洗浄などの方法を使しましょう。



06 ショウガ湯、または、ゆず茶など、漢方成分のある、あたたかいお茶で、風邪を予防しましょう



07 外出したあと、手をいつもきれいに洗って、風邪などの病気を予防しましょう。あたたかくして、体温を維持することも忘れないでおきましょう。



08 1時間に5~10分くらい、窓を開けて、室内の空気を換気しましょう。



きょうのでんどう

あひと
会う人

Blank grid for writing the daily devotion.

じゅんびょう
準備する資料

Blank lines for writing preparation materials.